

教育目標

自主
他敬 自愛
創造

内野中だより

内野中ブログ
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和6年3月15日(金)発行 第12号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161
生徒数 1年生253名 2年生255名 3年生279名 計787名(3月15日現在)

一年間ありがとうございました!!

本日、3月15日(金)をもちまして、内野中学校の令和5年度の教育活動が終了しました。令和5年度も様々なことがありましたが、生徒とともに、この日を無事に迎えられることを嬉しく思います。

本日は各学級担任から生徒に通知票が手渡されました。通知票には昨年10月から現在までの学習の成果と担任からの所見等が載っています。この一年間、生徒は学習や学校行事、部活動など本当によく頑張っていたと思います。成果が出て喜ぶこともあれば、壁にぶつかって悩むこともあったかもしれません。そんな一つ一つの経験が人として成長することにつながるのだと思います。通知表の結果をもとに、学習の成果を振り返り、進級への準備につなげてもらえればと思います。

第77回卒業証書授与式を挙行しました

3月5日(火)、内野中学校第77回卒業証書授与式が行われました。今年の3年生279名がそれぞれの進む道に向かって巣立っていく瞬間でした。卒業証書授与では、校長先生から3年生一人一人に卒業証書が手渡されました。返事をして、卒業証書を受け取る3年生の立ち振る舞いは堂々としていて立派なものだったと思います。最後には、卒業合唱として「旅立ちの日に」を3年生が歌いました。その歌声は、これから自分たちが進む道を力強く歩こうとする思いのこもった素晴らしいものでした。毎年行われる卒業式ですが、卒業する3年生にはそれぞれの積み上げてきたものがあり、ストーリーがあります。令和5年度の3年生も、内野中学校の伝統を受け継ぎ、立派な足跡を残したのではないかと思います。内野中学校のバトンは、在校生に託されました。令和6年度の内野中学校も大きく飛躍することを期待しています。校長先生が、卒業式で読まれた式辞の内容を紹介します。



卒業合唱「旅立ちの日に」

式 辞

内野中学校の木々にも新しいつぼみが膨らみ始めています。春の躍動を感じるこの良き日に、未来への希望に膨らむ当校第77期生 279名へただ今、卒業証書を嬉しく授与いたしました。

皆さんが、内野中学校へ入学してから昨年5月まで、感染予防の徹底を余儀なくされた学校生活が続きました。様々な制約があった中でしたが、そのような状況であっても、教育目標「自主・他敬・自愛・創造」が目指す姿を実現すべく、仲間と共に新しい方法を見だして、力強く進んでいく皆さんの活躍する姿が多く見られました。今年度の生徒会スローガンは「catch voice」。全校生徒の声を聞き、意見を集めて、よりよい生徒会活動になるよう、協働的な活動をしていました。特に、今年度は、皆が関わり、皆が主役であり、皆が本気で楽しめる、今までにない飛翔祭の工夫が目を見張りました。人はとかく、今まで通りが分かりやすいため、様々な課題があっても、そのままにしてしまいがちです。誰一人残さないための、皆のための企画運営を、3年生の皆さんが中心となってまさしく挑戦し、実現している姿が実に頼もしく、感動をたくさん頂きました。今まで学校のリーダーとして牽引し、また、困難な状況も明るく前向きに突き進んでくれた3年生の皆さん、本当にありがとうございました。



また、部活動では、サッカー部の全国大会出場をはじめ、ソフトテニス部女子北信越大会、吹奏楽部、合唱部の金賞受賞、作文や書道、にいがた2km動画入賞等々、目覚ましい活躍が数多くありました。皆さんが全力で練習や試合、各コンクールに臨む姿は大変立派でした。素晴らしい結果を残した人、思い通りの結果が得られなかった人、その結果が出た後の皆さんの考え方や行動に変化はあったでしょうか？

「夢とは必ず叶う」ものでしょうか？昔、「下町ロケット」というテレビドラマがありました。そのモデルとなったと言われる、北海道の植松電機の社長 植松努さんは、こう言います。「『夢は叶う』なんて言わない。でも、『夢は叶わない』とも思っていない。思うことは、招くこと。夢をもって挑戦しないと叶わない。失敗したら違うやり方はないかな？と行動し続ければ、夢に近づく。それでもなかなか叶わない夢は、一人では実現が難しい夢なのかもしれない。だからこそ、仲間に自分の夢を伝えて、人を信じて頼ることも大事、チームで成し遂げることが大事なのだ。」と。一方、植松さんは、「失敗しない人が実践している行動」を3つあげています。失敗しないためには、1つ目“何もしない。”2つ目“できることしかやらない。”3つ目“言われたことしかやらない。”この3つを守り抜いてしまう人には、自分の成長は期待できません。夢は遠のきます。「**失敗をする経験は、とても価値がある**」**自分の経験は、誰にも奪えませんか**から宝なのです。

さて、幼い頃から野球選手を目指し、夢を叶えた世界的スターと言えば、最近、さらに話題の大谷翔平さんですね。大谷翔平選手は、岩手県花巻東高校に進学し、そこで佐々木洋監督に出会いました。佐々木監督から勧められて、自分が叶えたい目標をマンダラ式チャート 81 マスに書き、目標を達成するために日々、コツコツと実行していったことは有名です。大谷選手が高校一年生の時に立てた最大の目標がど真ん中に書かれています。それは「ドラフト1位で8球団から指名されること」でした。それを叶えるために、身体づくり、コントロール、変化球、スピード 160 kmと、野球の技術が続くのですが、メンタル、人間性、運ということも、中心目標の周りに書いてあります。特に、「運に強くなるための策」として、挨拶、道具を大切に使う、本を読む、審判さんへの態度、応援される人間になる、ゴミ拾い…とあります。ゴミ拾いについては、皆さんもテレビで見たことがあると思いますが、現在でもアメリカの球場でゴミを拾い、ポケットに入れていました。メジャーリーガーになっても、このことを実践し続けている大谷選手の素晴らしさが伝わってきます。「人は誰でも、たとえ自分が決めたことでも、繰り返し注意を向けないと忘れてしまう自分、今日は まあいいかなあと、やらない自分」となる脳科学の特徴があります。それらを克服するために、いつでも目にして確認し、繰り返し行動できる「しかけ」が大谷選手の場合、マンダラ式チャートだったのです。

皆さんの本格的な人生はこれからです。15 歳、中学校の卒業。それはようやく社会へとつながる扉が大きく開かれたのです。私は、近い将来、テストの点数を競う入試よりも、皆さん自身が人生経験で培った力が重視される時代になっていくと考えています。多くの知識をもっているに越したことはないですが、丸暗記をしても、知識はネット上を検索すれば大量に入手できる時代です。むしろ、**人と対話をして、情報を活用しながら、自分で考え、仲間とともに最適解を生み出し、行動できる力が重要視**されていきます。行動や経験を繰り返して身についた力こそが、本物の力となり、夢に近づけると信じます。そして、これから遭遇するかもしれない様々な課題を自分事として捉え、よりよい世界になるように変えていき、進化、発展させていって欲しいと願います。

この 15 年間で、自分の価値を決めつけてはいけません。これからが、人生で最も大きく夢に近づくための勝負の時代がやってきます。本気で進み続けてください。そして、どのような形でもよいですから、世の中に貢献できる人になって欲しいと願います。

さて、この卒業式に在校生の参列はできませんでしたが、1、2年生が、卒業される3年生への感謝の気持ちを込めて、昨日は、工夫を凝らした「3年生を送る会」が催されました。3学年の先生に関するクイズ、意外な答えがたくさんあって、まだまだお互いに知らないことが多かったですね。2年生、1年生のリレーメッセージも、皆さん一人一人の心に温かく届いたのではないでしょうか。また、3階の廊下から広通川に向かって、今年もコンピュータ部が新潟大工学部の方々のご指導のもと、プログラミングによるイルミネーションが夕方から点灯しています。卒業されてもしばらく点灯しています。皆さんや地域を明るく照らし、心の拠り所になれば、幸いです。



そして、昨日は、第77期生の皆さんから、在校生へ内野中学校生のよき伝統を継承して欲しいメッセージも発表されました。「挨拶、時間、掃除」でしたね。この3つは、社会に出ると、本当に大切だと私も思います。先ほどの大谷翔平選手も、その先輩である菊池雄星選手も、最も大切にしているのは、自分からさわやかな挨拶をすること、時間を守り、時間を有効に過ごすこと。そして、自分の部屋や誰もが使用するトイレ清掃を徹底的に行っていることでした。これが、運も開けていく源になっていくのでしょうか。皆さんも、内野中学校卒業を節目に、この春、新たな目標を明確にして、なりたい自分、夢の実現に近づくよう自分を励まし続け、行動を起こしてください。

いよいよ、この学び舎を後にして、それぞれ新しいステージへ向かいます。進む道は違えども、決して一人ではありません。この内野中学校で一緒に学んだ仲間がいます。そして、何よりも今まで育ててくださったご家族がいらっしゃいます。ご家族の方々へ常に感謝を忘れずに、恩返しができる人へ、そして、社会に貢献できる人へと成長をしてください。本日までお別れするのは寂しい限りです。皆さんもそれぞれの別れが寂しいのは、「幸せ」だった証です。我々内野中学校職員一同は、皆さんの人生の一端に関わられて、たくさんの喜びと楽しい思い出を頂きました。本当にありがとうございました。

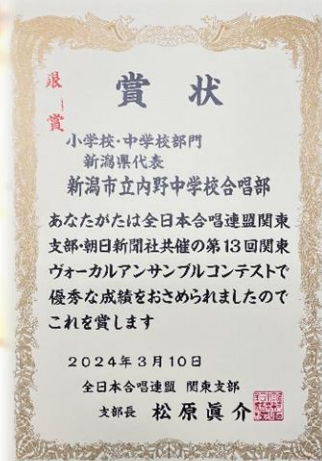
卒業する皆さんの新たな門出に心からお祝いすると共に、それぞれの人生に幸多かれと願い、私からの式辞と致します。

令和六年三月五日

新潟市立内野中学校 校長 佐藤 靖子

合唱部 関東大会で銀賞！

3月10日(日)に栃木県宇都宮市文化会館で、第13回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストが行われました。合唱部は新潟県の代表としてこのコンテストに参加し、沖縄の歌(民謡)の中から「別れ歌」と「遊び歌」を歌い、見事、**銀賞**を獲得しました。関東大会は全国大会常連校の強豪校がひしめき合う地区でレベルが大変高く、このコンテストに参加することも簡単なことではありません。昨今のインフルエンザ等の流行などもあり、思うように練習ができなかった中ではありますが、素晴らしい活躍だったと思います。佐藤校長先生が、現地に赴き、実際の合唱をお聞きになりましたが、「人の心を震わすような感動を届ける合唱であった」との話をしていました。この経験をいかし、次年度もさらにレベルアップした合唱をして、活躍してくれることを期待しています。



宇都宮市文化会館前 無事に合唱を終えて 笑顔の記念撮影

内野中生の活躍

1～3月に内野中学校の生徒が様々な大会やコンクールに出場し、表彰されましたので紹介します。

○第52回若佐杯争奪バスケットボール大会（男子） 第3位 内野中学校

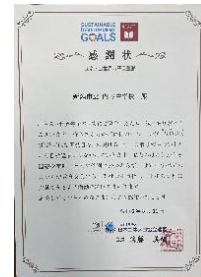
○第27回文理杯中学校交歓バスケットボール大会（男子） 第4位 内野中学校



○第69回新潟県書初め大会 UX新潟テレビ21賞

おめでとうございます！

この他に、日本ユネスコ協会から「書き損じハガキ回収運動」に協力していただいた御礼として、内野中学校へ感謝状が届けられました。



～離任式の連絡～

3月25日(月)には離任式が行われます。今年度、内野中学校を転出する先生とのお別れの場となります。1・2年生には下記の日程で、離任式を行うことを伝えてあります。時間に間に合うよう登校してほしいと思います。

- 1 日時 令和6年3月25日(月)
- 2 時間 午前 8:30～9:00 (8:15までに登校)
- 3 会場 内野中学校 体育館
- 4 その他 ・1・2年生は制服で登校します。
・登校したら教室へは行かず、直接体育館へ集合します。
・離任式後は、部活動によって活動がある部があります。



【保護者の皆様へ】

一年間、内野中学校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。至らぬ点多々あり、ご迷惑おかけしたこともあったかと思えます。それでも一年間を無事に過ごせたのは、保護者の皆様が温かく学校を見守って下さったおかげだと思っております。来年度も今年度以上に職員一同力を合わせ、子どもたちのために充実した教育活動を行って参りたいと思えます。

令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。